

マジックボール専用ソリューション及びマジックシールド滴下液の新型コロナウイルス不活化を実証

1. 試験目的と検査試料

試料(N-アルキルアミノプロピルグリシンおよびリシノール酸亜鉛含有除菌液)による新型コロナウイルスの不活化効果の有無を確認する。

試料1 Antibac 2K Magic Shield - Scent Free

試料2 Antibac 2K Air Purifying Solution AP2 Improved Plus

3. 所見

本試験において使用したN-アルキルアミノプロピルグリシンおよびリシノール酸亜鉛含有除菌液(Antibac 2K Magic Shield-Scent Free / Antibac 2K Air Purifying Solution AP2 Improved Plus)

は新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対して不活化効果が認められた。本試験結果より、物質の表面について新型コロナウイルスによる接触感染防止に有効である可能性が考えられた。なお、空間に浮遊するウイルスへの効果、人体への影響については検証を行っていない。

表1 ウィルス感染価の推移

試料名	作用時間	0 秒	180秒
コントロール		9.50 × 10 ⁶ PFU/ml	9.50 × 10 ⁶ PFU/ml
試料1、試料2		9.50 × 10 ⁶ PFU/ml	< 1.00 × 10 ⁴ PFU/ml

検出限界値： < 1.00 × 10⁴PFU/ml

表2 ウィルスの不活化効果

試料名	作用時間	0 秒	180秒
試料1 試料2	不活化効果 (Mv)	—	2.98
	減少率 (%)	—	> 99.894%

減少率 (%) は小数点第 4 以下の切り捨て

2. 結果

結果を表1～2に示した。

試料を 9.50 × 10⁶PFU/ml の新型コロナウイルスに180秒作用させると、検出限界の1.00 × 10⁴PFU/ml未満(減少率 > 99.894%)へと感染価が減少した。

4. 試験実施者

厚生労働大臣登録検査機関

環境衛生薬品株式会社 関西学研ラボラトリー

試験委託先:

公立大学法人 奈良県立医科大学 微生物感染症学講座

一般社団法人MBTコンソーシアム<細井裕司理事長>協力

グラフ ウィルス感染価の推移

